

笑顔で会える学校

豊能町立吉川中学校 学校だより



令和3年5月17日

5月に入り、暖かい日が多くなりました。 吉中生は元気です！

5月も早いもので後半に入りました。ゴールデンウィークも終わり、今週末には中間テストが控えています。大阪府に発令されていた緊急事態宣言も延長され、新型コロナウイルスの感染拡大防止の取組みも、引き続き行いながらの毎日です。緊急事態宣言に伴い、部活動も原則休止となっています。1年生は中学校での部活動を楽しみにしていた人も多いはず。「さあ、部活動をがんばるぞ」と、中学校での部活動が本格的に始まろうとした矢先の緊急事態宣言だったので、さぞかし残念な思いをしていることでしょう。2、3年生も、新しい生活様式が続く窮屈な毎日に、ストレスがたまっていないか心配です。けれど、毎朝元気に登校してくるみなさんを見てると、ホッとしますし、こちらまで元気になります。そして、校舎に入る前には、きちんと消毒をしているみなさんを見て、「手洗いや消毒、きちんとしないと」と、こちらまで気が引き締まる思いになります。みんなで、安心、安全な学校を保っていききたいですね。



コロナ禍だからこそ

あいさつを大切に！

朝、校門に立っていると、本当によくあいさつをしてくれます。それも気持ちのよいあいさつをしてくれる人が多いことに感動します。みなさんの「おはようございます」の声に、たくさんの元気をもらっている今日この頃です。

コロナ禍で、みんなマスクをしています。本当なら「大きな声であいさつしよう」と言いたいところですが、今は大きな声は求められません。しかし、多くの人がしっかり聞こえる声で「おはようございます」とあいさつをしてくれます。そのような中で、ひときわ元気にさせてくれる人が何人かいます。その人たちの共通点は「笑顔」です。「笑顔」の『おはようございます』なのです。

マスクをしていても、笑顔はわかります。目元が優しく、そしてあいさつの声が弾んでいるように聞こえます。マスク越しでも十分にわかります。思わずこちらも思い切り笑顔になります。その人たちは、きっと自分では気づいていないと思いますが、間違いなく多くの人たちに元気を与えています。そして周りの人の心をほぐし、明るくしています。



マスクをしていると、相手の表情が読み取りにくい。表情が読み取れないとお互い不安になります。けれども、マスク越しでも「笑顔」はわかります。特に「笑顔」のあいさつは、温かさ、柔らかさが伝わります。お互いにそのようなあいつが交わしたら、様々な不安や心配な気持ちがあったとしても、その気持ちはやわらぎ、勇気が湧いてくると思います。こんなご時世だからこそ、「笑顔」のあいさつは貴重です。みなさんの「笑顔」は素敵です。素敵な「笑顔」でのあいさつの輪を、みんなまで広げていきましょう！

「笑顔で会える学校」プロジェクトまもなく始動！

先日、生徒会役員の人たちに一つお願いをしました。『笑顔で会える学校プロジェクト第1弾』として、『「笑顔で会える学校」、すなわちみんなが居心地よく、安心して楽しい学校にするために、生徒会で何かできないかを考えてほしい』という「校長からのミッション」を授けました。そのミッションを授けた日、生徒会役員の人たちは「目安箱づくり」に取り掛かっていました。その「目安箱」を活用することになるかはわかりませんが、近いうちに生徒会役員の人たちからのお願いもあるかと思っています。「どうすれば、より吉中生が楽しく安心して過ごせる学校にできるか」を生徒のみなさん一人ひとりが考えてくれたらうれしいです。みなさん、生徒会役員の人たちから協力のお願いがあったときには、ぜひよろしくお願ひします。そして、生徒会役員のみなさん、ミッションの遂行をよろしくお願ひします。



まもなく中間考査。がんばれ吉中生！

今年度最初の定期考査である中間テストが今週末に迫りました。1年生にとっては中学校に入学して初めての大きなテストです。先週の木曜日からは「放課後まなび舎」も始まりました。2号館4階の243教室には、授業後、家に帰るまでにしっかり勉強しようという人が集まり（密にならないように気をつけながら）、集中して学習しています。

みなさんには、人と比べるのではなく、自分なりに精一杯勉強して、テストに臨んでくれることを期待します。

